

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 9/9

Albirex-RT

スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 5 戦

湊選手が2戦連続入賞！

9月9日(日) 予選・決勝 東コース 1 LAP=3.422km 出走：16台

天候：晴 コース：ドライ 気温：33℃ 湿度：31% 路温：47℃

ドライバー：深村 匠 (アルビ RTGIA ミスト KK-S #34)

栗村 和 (アルビ RT ビヨンド ED アソー #35)

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)

予選結果：湊選手 8位 深村選手 13位 栗村選手 14位

決勝結果：湊選手 4位入賞 深村選手 9位 栗村選手 規定周回数満たず

■9月9日(日) 予選

8時55分予選開始。湊選手は先頭でコースインしようとしていたものの、先に他車両に並ばれてしまい、集団の中でコースイン。4周目にベストタイムをマークするが、その後はタイムの更新ができず、最終周もベストラップには0.07秒届かずに8番手グリッドを獲得する。トップからは約1.5秒差、7番手とは0.089秒差であった。

深村選手はコースインのタイミングに関して、深村選手より速いドライバーについて行くことによるペースアップを狙っていた。予定通り速い車両の後ろについて出ていくが、譲られてしまい、しばらくは単独で走行していく。7周目、少しペースを落として速いドライバーに一度抜かれ、その車両に引っ張ってもらう形で少しずつタイムを削り始める。そして10周目にベストタイムをマーク、13番ポジションを得る。

栗村選手は14番グリッドより巻き返しを図る。

■9月9日(日) 決勝

8番手スタートの湊選手は1周目の混乱もうまく抜け6番手に浮上して2周目へ。先頭集団とは少し離れて単独走行で上位との差を少しずつ詰めていく。5周目には5番手車両を射

程圏内に捉え、6周目にパスして5番手に浮上。そのまま9周目まで少し間隔を空けて2～5番手の集団での走行となる。10周目、4番手との差を詰めプレッシャーをかけていく。しかし抜く事はできずに12周目となるファイナルラップへ。ファイナルラップでも果敢に攻め続け、最終コーナー、4番手車両に最後のアタックをしかけ、立ち上がりでノーズを入れて抜きにかかる。そのままコーナーを立ち上がり、湊選手が4番手車両のやや後方横に並んでホームストレートへ。しかしそのままコントロールラインを通過。惜しくもコンマ1秒遅れでの5位フィニッシュとなった。

13番グリッドの深村選手はスタートで栗村選手にかわされるが、1コーナーでの混戦も切り抜け2周目には11番手に浮上。徐々に前車との距離を詰め、6周目に10番手とのバトルがスタートする。そして8周目の最終コーナーヘアピンの進入でノーズを入れて10番手に浮上。しかし、パスした車両を引き離す事はできずに9周目、最終コーナー立ち上がりで深村選手が若干外に膨らんでしまったところを突かれ、ホームストレートでかわされ順位を落としてしまう。

しかし離されはせず、後ろをピッタリとマークしてチャンスを伺う。そして10周目、最終コーナーで見事に抜き返して再びポジションを奪取。そこからパスした車両のプレッシャーを受けながらも最後まで持ちこたえ10位でチェッカーとなった。

14番手スタートの栗村選手は3周目、前の車両と接近したところスピンを喫し、コースオフ。その後、レース復帰まで時間がかかってしまい、規定周回数には到達しなかったため、完走扱いにはならなかった。

レース後、上位車両に1周減算のペナルティが課され、繰り上がりで湊選手が4位入賞、深村選手9位が正式結果となった。

○深村選手コメント

今回はスポット参戦という形でしたが、普段は富士シリーズに出場している自分にとって、ものすごく勉強になるレースでした。たくさんの方に話が聞けて、レースでもバトルで制する事ができていい経験になりました。次の富士のレースでこの経験をいい結果に結び付けられるように頑張りたいです。

○栗村選手コメント

茂木はスポット参戦でしたが、思うようなレースができずに残念でした。ただ、いろいろと勉強することはあったので、次の東北シリーズでいい結果を出せるよう頑張りたいです。

○湊選手コメント

今回も表彰台を狙っていたので、この結果に満足はできません。最後まであと一步で追い抜く事ができなかったのも、次は再び表彰台に立てるように頑張ります。

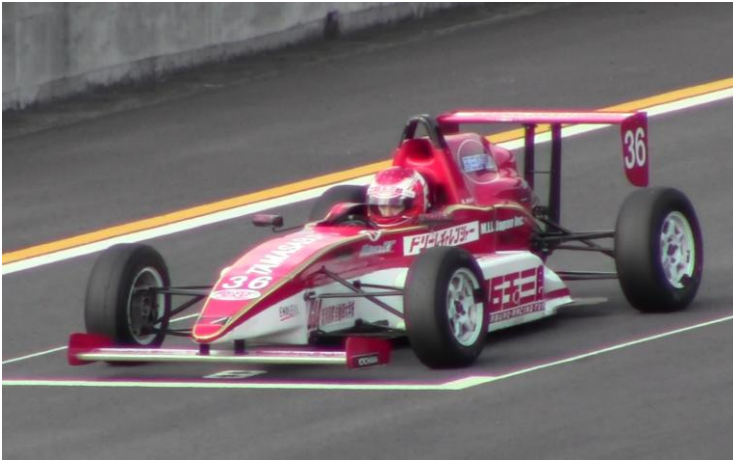
○中村監督コメント

今回湊選手は課題がひとつはっきりわかって、予選での戦い方が見えました。決勝ではそこそこのタイムとペースを維持しながら走行できますので、予選次第では大きくジャンプアップが可能だと見えました。

深村選手、栗村選手はスポット参戦ながら努力しました。特に深村選手は走行前にタイヤの使い方、車の動かし方が理解できたようで、次戦の富士には好結果が期待できます。一方の栗村選手は歯車が何か噛み合わず残念な結果に終わりました。しかし、総じて湊選手が4位になったことにより、茂木シリーズのポイントランキングもランクアップしました。次戦もがんばりますので応援の程宜しくお願いします。







P PLUS  Nankai Plan Co., Ltd.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tknf.com/ads>

MID Japan Inc.
Mitsui Impress Development



・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター ・ 東栄ボディー